

Hi, friends 2 Lesson 7 第6時

6 本時の学習 (6 / 6)

(1)本時のねらい : 自分たちの伝えたいテーマに沿って、英語を使って相手に伝わるように工夫しながら発表したり、友達の伝えたいことを積極的にわかってもらう。

(児童のめあて… 例: オリジナルの「桃太郎」を演じよう!)

(2)評価規準: 積極的に英語で物語の内容を伝えたり、聞いたりしようとしている。

(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

(3)展開

過程	児童の活動	学級担任 (T 1) の活動	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 指導上の留意点 ☆準備物 (コ)(慣)(気) 評価規準 < > 評価方法 ◆ 他教科との関連
挨拶	○始めの挨拶 “Let’s start !”	“Let’s start !”	
導入	OP.37【Let’s Chant】 We are good friends. リズムに合わせて元気に言う。	・デジタル教材を聞かせる。	
展開	OP.37【Activity】 オリジナルの「桃太郎」を作って演じよう。 ・各グループがオリジナル劇を発表する。 ・発表を鑑賞するグループは、発表後よかったところや工夫されていたところ、感想などを発表し、英語のほめ言葉を言う。	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループの発表順を決める。 ・各グループの劇が終わったときには拍手をしながら、英語でほめ言葉を言い、鑑賞した他の児童にも英語で言うように促す。 Good! Very nice! Excellent! Good gesture! Clear voice! ・発表したグループのよかったところや工夫されていたところ、感想を発表するように伝える。(日本語でOK) その際、英語のほめ言葉も付け加えるよう促す。 ・コメントを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆総合的な学習の時間 (コ)積極的に英語で物語の内容を伝えたり、聞いたりしようとしている。 < 行 動 観 察 >
挨拶	○ふり返りカードに記入し、発表。 ○終わりの挨拶 “Let’s finish !”	○ふり返りカードを配付。 何人かに発表させ、回収する。 “Let’s finish !”	☆ふり返りカード